

Vol.011
20 February 2021

Plaza 通信 Vol.011 の内容

- ◇ 2月は、熊本市多文化共生月間です。
- ◇ 熊本労働局令和2年「外国人雇用状況」集計結果発表

2月のプラザ

新型コロナウイルス感染症の熊本独自の緊急事態宣言下になります。不安などお気軽にご相談ください。

プラザでは、外国人の方々からの相談に加え、外国人住民が働かっている企業や彼らが住んでいる地域の自治会へ外国人住民の皆さんの事（文化・習慣など）や多文化共生の取組について出前講座を開催することができます。お気軽にお問い合わせください。

詳細・開設時間などは下記へ：

熊本市国際交流振興事業団
860-0806
熊本市中央区花畑 4-18
熊本市国際交流会館2階
TEL 096-359-4995
e-mail
soudan@kumamoto-if.or.jp

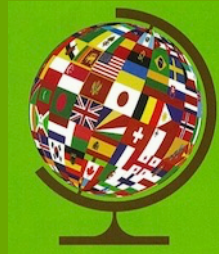


ホームページの QR コード



Facebook の QR コード

ぶらざ つうしん Plaza 通信



たぶんかきょうせい かんが
～多文化共生を考える～

◇ 2月は、熊本市多文化共生月間です。

熊本市国際交流振興事業団では、毎年2月を多文化共生月間と定め、多様な人・文化と触れ、学ぶことができる機会を提供しています。今年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から毎年開催している外国人コミュニティとの交流はできませんでしたが、インドネシアや中国出身の方々のコミュニティを動画で紹介しています。また、国際交流会館のエントランスロビーでは、熊本市の外国人住民の状況やプラザの活動をパネルで展示しています。

さらに、2月27日（土）に、オンライン（Zoom）で次のとおり、多文化共生セミナーを開催します。なお、国際交流会館でもセミナーの視聴ができます。

多文化共生セミナー 「やさしい日本語のススメ」 ～英語でなくても～

日本語をとおして外国人・日本人住民の対話による関係づくりの可能性を聖心女子大学日本語日本文学科岩田一成教授にお話をいただきます。そして、やさしい日本語のできる地域づくりと一緒に考えます。

参画申込先：
熊本市国際交流振興事業団
企画チーム
電話 096-359-2121
e-mail
pj-info@kumamoto-if.or.jp

インドネシア、中国出身の方々の生活を紹介する動画を見ることができます。（国際交流振興事業団ホームページの QR コード）



(一財) 熊本市国際交流振興事業団
令和2年度
多文化共生セミナー

「やさしい日本語のススメ」 ～英語でなくても～

皆さんは「やさしい日本語」を知っていますか？
地域に住む外国人の人とコミュニケーションをとりたけど言葉が、
と悪い遠慮していませんか？

◆地域に住む日本人と外国籍住民との共通言語、災害時に使える言語としての「やさしい日本語」の可能性を、参加者の皆さんと考えるセミナーです。

◆行政による「やさしい日本語」の活用事例紹介や、
「やさしい日本語」を活用した地域振興・街おこしの事例紹介もあります。
皆さんふるってご参加ください！

開催日時：令和3年2月27日（土） 開場15:30 開演16:00 終演18:00
※ZOOMにて開催しますが、会場での聴衆も可能です。
※ZOOMでの参加を希望される方はメールアドレスをお教えてください。

講演

①「やさしい日本語のススメ」～英語でなくても～
聖心女子大学 日本語日本文学科 岩田 一成 教授
金沢大学文学部地理課程を卒業後、青年海外協力隊で日本語教師になる。
韓国語、大阪大学大学院言語文化研究科博士後期課程修了。博士（言語文化学）。
広島市立大学国際学部などを経て現職。専門分野は日本語文法（統語レベル）。

②質疑応答
チャットを活用し、参加者の皆さんからの質問に答えます！

申込・お問合せ：
一般財団法人熊本市国際交流振興事業団 企画チーム
〒860-0806 熊本市中央区花畑町4番18号
Tel：096-359-2121



コーディネーター 紹介！

田上美奈さん

プラザに関わる人物紹介
第5弾

昨秋よりプラザコーディネーターとして活躍している田上美奈さんにインタビューしました。

① 外国人住民の課題

地域サポートで外国人家庭を訪問した経験から、子どもの幼稚園への入園等重要な保健・医療に関する情報が外国人住民に届いていないように感じています。また、幼稚園への入園申込書など多言語化されていない行政情報が多いことが課題です。

② 地域への提案

熊本市の外国人住民は増加し、広く各地域に暮らされています。皆さんの身近なところにも外国人住民の方々が暮らされています。地域のお祭りなどの行事に外国人住民の方々にも参加してもらい交流をしながら、支え合う関係づくりを進めていくことが重要です。

交流をとおして、外国人住民が言葉や文化・習慣の違いで困ってことを知る機会を作り、日本人住民の皆さんも一緒にどんなことができるかを考えていただければ存じます。

③ プラザができること

プラザでは、外国人住民の方々からの相談に対して、相談員に加え、専門機関と連携をはかり、解決できるように寄り添い支援を行っています。

インドネシア、中国出身の方々の生活を紹介する動画（表ページのQRコードからご覧いただけます、）



熊本労働局 令和2年「外国人雇用状況」集計結果発表

（令和3年1月29日）

令和2年10月末現在の熊本県内の外国人雇用状況の届け出集計結果が発表されました。これによると、県内の外国人労働者数は、12,9128人となり、届け出が義務化（平成19年）以降、過去最高を更新しました。ポイントは次のとおりです。

- 外国人労働者数は12,928人で、前年同期比583人、4.7%の増加(平成19年に届け出が義務化されて以降、過去最高を更新)
- 外国人労働者を雇用する事業所数は2,910か所で、前年同期比167か所、6.1%の増加(平成19年に届け出が義務化されて以降、過去最高を更新)
- 国籍別では、ベトナムが最も多く5,937人(外国人労働者全体の45.9%)、次いで中国2,380人(18.4%)、フィリピン1,730人(13.4%)の順。対前年伸び率は、ネパール(22.8%)が高い。
- 在留資格別では、「技能実習」の労働者数が8,500人で、前年同期比520人、6.5%の増加。また、技術・人文知識・国際業務(特定技能含む)に就く人など「専門的・技術的分野の在留資格」の労働者数は1,667人で、前年同期比88人、5.6%の増加。

※詳細は、厚生労働省熊本労働局のホームページをご覧ください。（右記が当該ホームページのQRコードです。）



プラザコーディネーター

田上美奈さん

（英語・日本語）

医療通訳や外国人家庭への赤ちゃん訪問事業の地域サポートのコーディネートを担当、その実績を活かし、昨秋よりプラザのコーディネーターもしています。

熊本市の在留外国人(2月度速報)

在留外国人数/総人口 6,458人/732,439人(外国人比率 0.88%)
(在留外国人数 前月より21人増)

1月の
プラザ
相談件数
95件